

特集：大学説明会

大学説明会を終えて

藤田 圭子（筑波大学 生物学類 2年）

「感想」

両日とも、天候にも恵まれたこともあり、大変暑い日々ではありましたが、教室がいっぱいになるほど、たくさんの方が参加してくださった説明会となりました。

午後の学生による説明会では、最初は緊張していた生徒さんたちも、段々と笑顔がこぼれ、和やかな雰囲気のなか、進めていくことができました。時間がおしてしまい、駆け足になる部分もありましたが、生徒さんや保護者の方々が紹介の1つ1つに向ける熱いまなざしは最後まで変わらず、資料などには載らない学生の“生の声”もまた、大事な情報として求められていることを改めて感じました。

この説明会をよりよいものに…と、頑張ってきましたが、参加してくださった方々が少しでも、「来た甲斐があった」と思ってくださっていたら、嬉しい限りです。

先生方、スタッフの学生さん、特に、一生懸命準備し、熱い紹介をしてくれた皆さん、二日間、お疲れ様でした。

「反省」

学生による説明会について

1番の反省点というと、やはり「時間」だと思います。準備では時間ぴったりでも、当日になると、どうしても長くなってしまいうので、もっと短めに準備をしておかなければいけないのかもと思いました。また、今回は、質疑応答がほとんどカットになってしまいましたが、代わりに(?)、相談所を利用する生徒さんがいらしたようでした。質問とその答えという情報の共有は減ってしましますが、質疑応答の時間をもっと短く設定してしまって、その分を説明にまわす…というのもまた、ひとつの方法かもしれないとは、思いました。(なかなか恥ずかしくて質問できない生徒さんも、正直、多いですし、相談所も設置されていますので…)

模擬授業について

去年よりも参加者が多かったということでしたが、1つめの講義と2つめの講義の間に帰ってしまう人がたくさんいたことが残念でした。また、始まる前には、「内容は前半が進化で、後半はポリフェノールの働きです…」などという呼び込みがあったのですが、「ポリフェノールは何時からですか?」という質問を受けました。「進化」は、まだ学んでいなかったり、苦手としていたり…、という感じだったため、前半を身近なものに関する講義にして、緊張をほぐしてから、続いて後半に…というのも面白そうかもしれないと思いました。

アンケートについて

台に乗せて、その場で書けるようにしたり、回収箱を見やすくしたりしたことは、実際それを見てアンケートを出している生徒さんたちの姿から、大成功だったと思います。また、説明会や模擬授業など、椅子に座っているところで、アンケートに記入してくださいとアナウンスすると、その場で書こうとされるので、これもまた効果があるようでした。

お疲れ様でした。「遅刻」を許していただくなど、いろいろご迷惑をお掛けしました。

「やりきったああ」という感じの2日間☆ありがとうございました!!

キャンプも、よろしく願いいたします♪

Communicated by Shinobu Satoh, Received August 17, 2007.